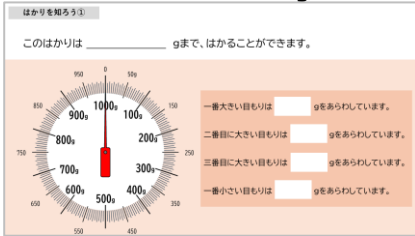
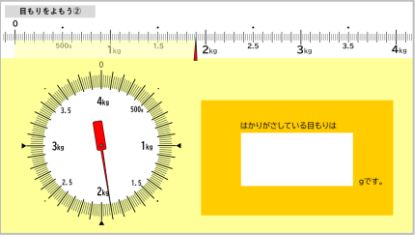
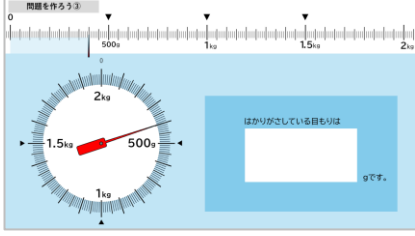
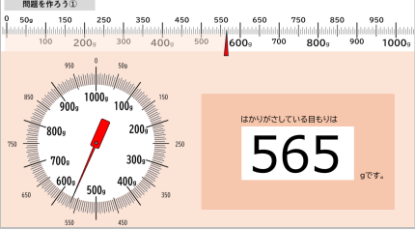
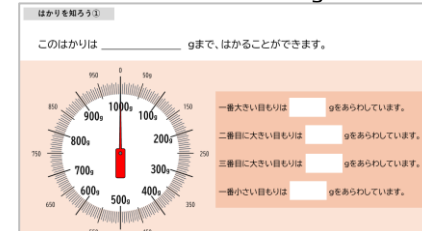
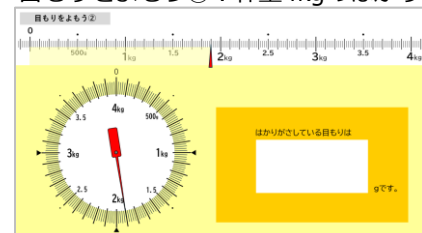


学年	教科等	単元等	活用アプリ
小3	算数	重さのたんいとはかり方	プレゼンテーションソフト
授業内容	はかりの目もりをよみ取ろう		
<div>準備：</div> <div><ul style="list-style-type: none">・ワークシート用ファイルを準備する。・ワークシート用ファイルを課題として子供たちにコピーを配付する。</div> <div>授業の流れ：</div> <div><ol style="list-style-type: none">1. 各自ワークシート用ファイルの最初のスライド「はかりを知ろう①」を開く。2. 秤量と、目もりが表している量を全体で確認しながら入力する。3. 「目もりをよもう①」を開き、はかりの針のさす目もりを読み、入力する。このとき同じ値を示している数直線も参考にする。4. 「問題を作ろう①」のスライドを開き、はかりの針と、数直線の針を動かして、任意の同じ重さを示す。（操作説明 1， 2 を参照）5. 「問題を作ろう①」をペアで見せ合い、互いに表されている重さを読む。答えをペアで確認しながら入力する。6. 「はかりを知ろう②」「目もりをよもう②」「問題を作ろう②」、「はかりを知ろう③」「目もりをよもう③」「問題を作ろう③」にも同様に取り組む。7. はかりの目もりをよむ時に大切なポイントを全体で伝え合う。</div> <div><div>サポート おすすめ ポイント</div><div><ul style="list-style-type: none">・数直線を併用しながら、はかりの目もりのよみ取りの練習をします。・自分で針を操作し、目もりを数えながら問題作りをすることで、体験的に理解を定着させます。</div></div>			
<div>はかりを知ろう①：秤量1kgのはかり</div> <div></div> <div>目もりをよもう②：秤量4kgのはかり</div> <div></div> <div>問題を作ろう③：秤量2kgのはかり</div> <div></div> <div>問題を作ろう①：秤量1kgのはかり(使用例)</div> <div></div>			

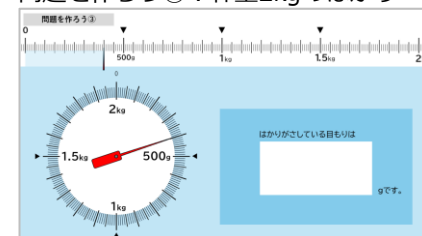
はかりを知ろう①：秤量1kgのはかり



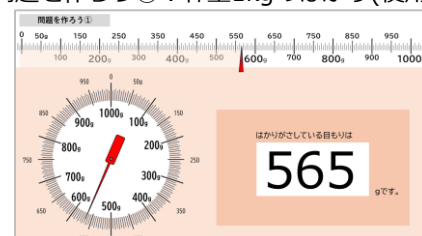
目もりをよもう②：秤量4kgのはかり



問題を作ろう③：秤量2kgのはかり

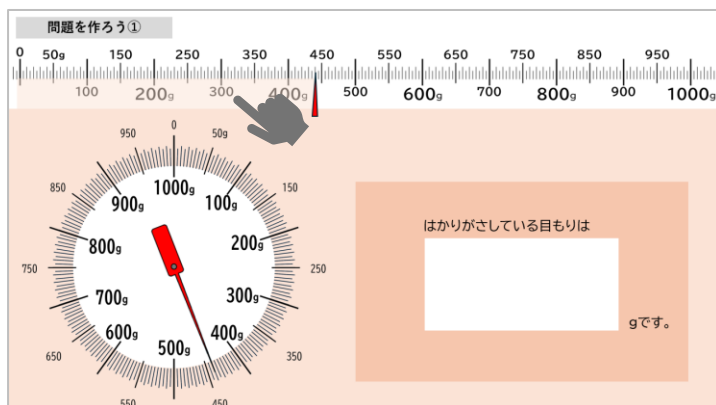


問題を作ろう④：秤量1kgのはかり(使用例)

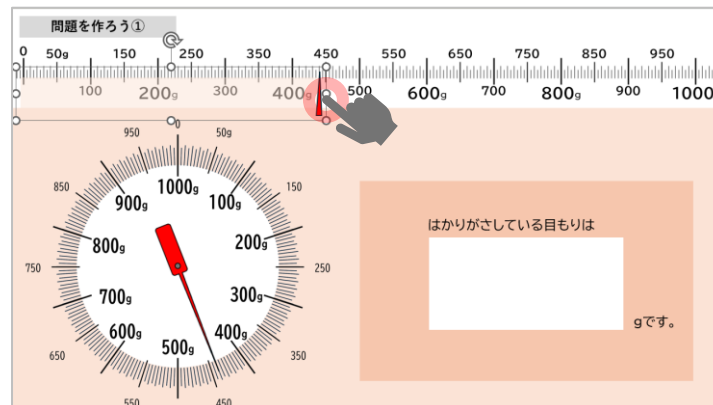


操作説明 1 ワークシート「数直線の下に配置されている針を含む図形」の動かかし方

1. 数直線の下に配置されている針を含む図形をクリック



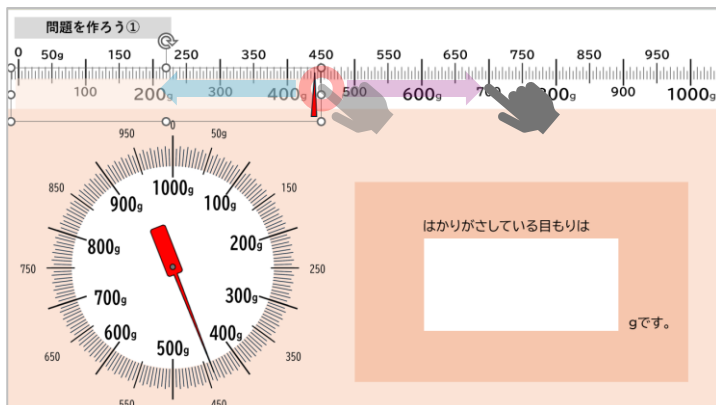
2. 右端（中央）をドラッグしながら伸縮（左右に動かす）



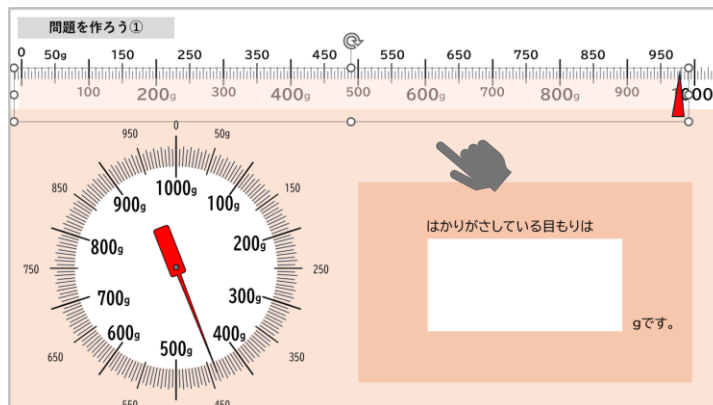
操作のポイント

右端中央以外の点を動かすと、図形全体が伸縮したり、大きさや位置が変わってしまいますので、注意してください。
図形が動いたり壊して修復できないときは、もう一度教材をダウンロードして、何度でもご利用ください。

3. 数直線の下で、図形を伸縮させ、針の動きを確認する



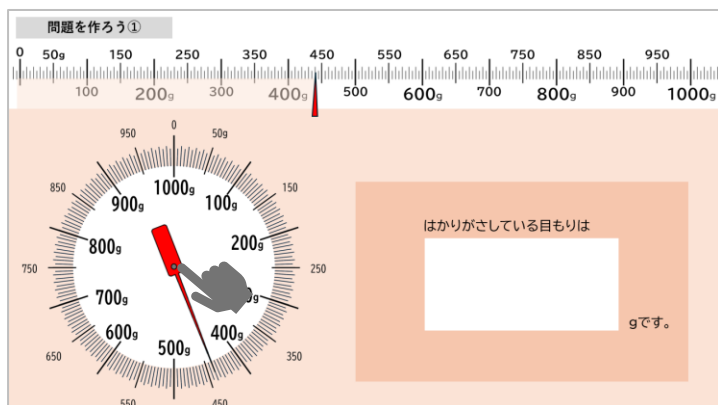
4. 針を含む図形以外の場所をクリックすると選択解除



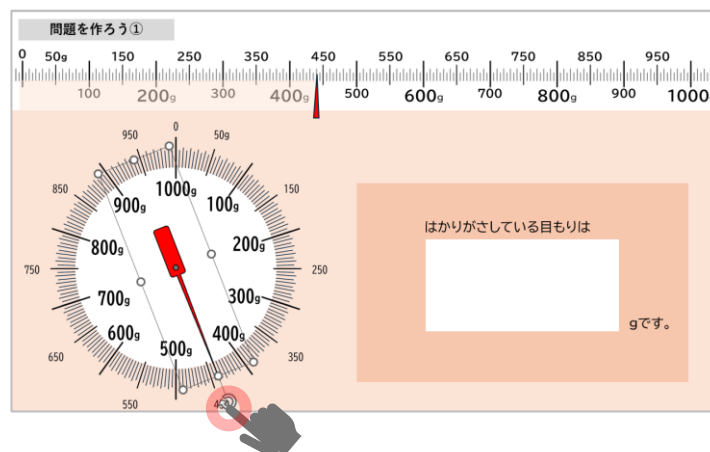
※ワークシートの動かせる図形以外は背景に設定しています。

操作説明 2 ワークシート「はかりの中に配置された針の図形」の動かし方

1. はかりの中に配置された針の図形をクリック



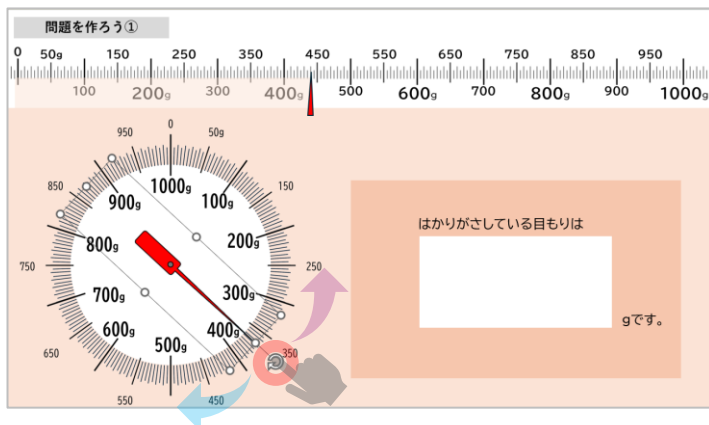
2. 針の先に現れる丸い矢印を操作して、針を回転させる



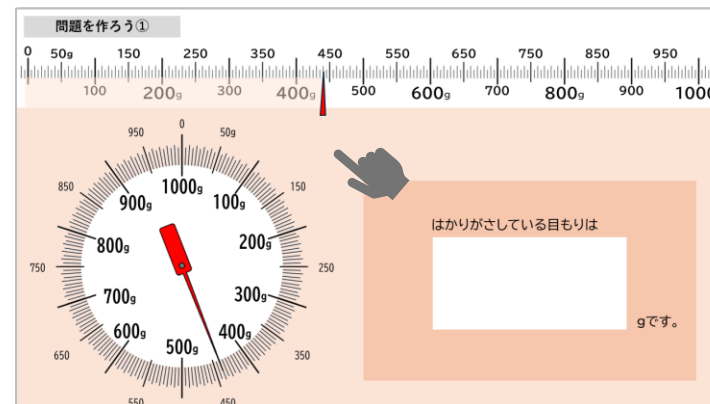
操作のポイント

丸い矢印以外を動かすと、図形全体が伸縮したり、大きさや位置が変わってしまいますので、注意してください。
図形が動いたり壊して修復できないときは、もう一度教材をダウンロードして、何度でもご利用ください。

3. 丸い矢印をはかりに沿って操作して、針を回転させる



4. はかりの図形以外の場所をクリックすると選択解除



※ワークシートの動かせる図形以外は背景に設定しています。